

2012-B					
拠出金・基金の名称:		アジア欧州財団			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: アジア欧州財団 (ASEF)					
【所管官庁担当局課・室名】: 外務省欧州局アジア欧州協力室					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 ASEFの設立目的であるアジア・欧州間の相互理解促進のための事業を進めるにあたり、現状では欧州とアジア各々の地域の人々がお互いをどう観ているかにつき基礎認識を調査、分析するプロジェクト。平成23年の欧州におけるアジア観調査分析プロジェクトの対をなすものとして、平成24年はアジアにおけるEU観について取り扱った。アジア及び欧州の学会、メディア、専門家及びシンクタンクの協力を得て（我が国大学関係者もリサーチ・パートナーとして参加）、世論調査、メディア分析、オピニオン・リーダーへのインタビューという3つの方法を通じて、リスボン条約発効後のアジアにおけるEU観につき調査・分析を行い、「アジアから見たEU」という成果物にまとめた。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千星ドル)	外貨2 (千米ドル)	レート	ODA率 (%)
平成24年度	2,016	31.5	-	1星ドル = 64円	0
平成23年度	2,378	37.1	-	1星ドル = 64円	0
平成22年度	3,703	-	39.4	1米ドル = 94円	0
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 本件調査・分析結果は、アジアと欧州の一般の人々や研究者等による活用が可能となるように書籍の形にまとめて出版された。ASEFは、アジア・欧州間の相互理解促進のため、知的交流、文化交流、人物交流等の分野で様々な事業を実施している。ASEFは、これら具体的事業を適切に企画・立案するために本件調査分析結果を活用し効果的な事業実施に努めており、我が国としても評価している。					